

〇〇校区自治会連合会の組織・役割・効果について（案）

地域性を活かした、
安全で安心なまちづくりに取り組むことができます。

一つの自治会では出来ない地域の課題を、いくつかの自治会又は校区活動として実施することにより、より良いまちづくりが進められます。住みよいまちづくりは、自治会長だけでなく、各種団体の代表者が話しあい、会員を含めて助け合うことから始まります。

効果



分野・項目	効果
【防 災】 避難所の開設、 防災マップの作成など	いつ来るか分からない大きな災害に備えて、自治会での防災組織、防災訓練に加えて、避難所の運営を含めた校区の防災訓練を実施し、いざという時に備えています。過去の災害などから地域の危険箇所や特性をつかみ、防災マップを作ったり、防災資源の見直しを地域ぐるみで実施することで、安全なまちづくりが進められます。
【防 犯】 登下校の見守り （青色パトカーの巡回など）、 子ども 110 番の家の周知など	ボランティアやPTAの力を借りながら、地域のみなさんが意識し、目を光らせることで、不審者や犯罪から地域を守ります。情報共有することでも、安全なまちづくりが進められます。
【交通安全】 危険箇所点検など	地域ぐるみで、通学路の見直し、道路の改良などを進められます。地域のみなさんが危険な場所を話し合い、気をつける事で、事故防止にもつながり、安全なまちづくりがさらに推進されます。
【福祉・高齢者】 見守りネットワーク、ふれあい・いきいきサロンの開設、介護予防教室、健康年齢を伸ばす活動、買い物支援など	高齢化、核家族化の進んだ社会ですが、地域の中で、高齢者も子育て家庭も様々な人たちが、健康で楽しく生活できる地域になります。世代を超えたつながりの中で、自分が出来ることを見付け、お互いに困っている時には助け合うことをみんなが学びます。それは、地域の中で、「お互いさま」と助け合う共助が循環する社会へとつながっていきます。
【福祉・児童】 放課後児童クラブへのかかわり、子育て家庭の見守りや居場所づくり、子育てネットワークなど	日頃のつながりを深めることで、災害時にも、高齢者等の速やかな安否確認や、避難支援につながります。
【環 境】 環境保全活動、清掃活動、緑化活動、河川浄化活動など	きれいなまちづくりを地域が行うことで、日頃から、身近な環境への意識が高まり、継続的に美しい環境が守られます。また、ともに汗を流したことで、仲間意識や地域への親しみが育まれます。
【青少年育成活動】 青少年を地域で見守る活動など	地域活動に積極的に青少年を取り込むことで、青少年の地域での居場所（存在意義）を意識させることができ、自立心や社会性が育まれます。地域の子どもを地域で育てる意識が高まり、積極的に声を掛け合う姿が見られ、あいさが飛び交う明るく温かいまちに変わります。
【地域コミュニティの活性化】 運動会、夏祭り、地域コミュニティ拠点の運営など	地域のふれあいやつながりが深まります。また、地域の多くのみなさんがボランティアとして係わることで、集い、話し合う機会ができ、コミュニティの結束が深まります。
【文化の伝承】 地域の文化を守る活動など	活動の中で、多世代交流が生まれます。地域を再発見することは、地域愛を育み、文化を守り伝え、また新たな文化を創造します。

行政はパートナーです！

自治会連合会で解決できない部分を補うのは、「行政の力」です。行政は、自治会連合会とのより良い関係を築き、より効果が上がるように、適切に広い見地から調整する立場です。